

前方後円墳

～あの形が意味することは何か～

群馬中央中学校 1年3組

氏名 澁谷太陽

【テーマ選定のきっかけ】

僕はかなり最近（3ヶ月くらい前）まで、前方後円墳は丸い方が前だと思っていました。しかし、それは全くの誤解でした。「前方後円墳」とは、「前が四角形（方形）で、後ろが円の古墳」という意味だったのですね。ネットやテレビなどでは、丸い方が前に映されることが多いので、向きを誤解してしまいます。正しい向きを知ったところで、僕はふと思いました。「あの鍵穴のような形が正しくないのなら、正しい向きの、口の大きな壺のような形は、何を表しているのだろう。もしかしたら、あの鍵穴のような形が実は正しかったりして…」と。そこで、初の東国文化自由研究では、この「前方後円墳の形」について、調べていきます。

まずは、自分なりの仮説を立ててみました。

【《仮説》～あの形は「壺」を模したもののなか～】

正しい向きの形を見て、最初に思いついたものは「壺」です。そこで、古墳時代やそれに近い時代の壺の役割について、調べてみました。そうすると埋葬方法で、「甕棺墓（かめかんぼ）」と「壺棺墓（つぼかんぼ）」というものが出てきました。この埋葬方法は、その名の通りに「甕や壺を棺として埋葬する墓」のことです。これは古墳時代ではなく、縄文時代後期～晩期（末期）に日本各地（東北～九州）にあった風習で、弥生時代前期～中期の北九州で最盛期を迎え、弥生時代後期の初頭まで続きました。縄文時代後期～晩期にかけては、乳幼児の埋葬に用いられましたが、弥生時代には、成人の埋葬にも用いられるようになりました。その他にも、壺は弥生時代～古墳時代中期にかけて食料を保存しておくためのものだったり、死者にささげる食べ物をいれる入れ物だったり、人々の生活にさまざまな形で関わってきました。こうしたことから、この仮説を立てました。

【そもそも「方墳」、「円墳」とは何か】

前方後円墳の形について調べる前に、まずは、前方後円墳を構成する二つの古墳「方墳」と「円墳」について調べていきます。

方墳…平面形（真上から見た形）が方形の墳丘（土や礫などを積み上げて築かれた盛土のある墓の丘）をもつ古墳のことです。古墳時代の全期間にわたって円墳について数多く築かれ

ました。正方形および長方形のものがあります。島根県東部の出雲地方は方墳が特に多い地域として知られていて、そのさらに東部の安来市の荒島にある造山古墳（図1）は、古墳時代前期のものとしては、全国でも最大級の方墳です。その他にも千葉県龍角寺岩屋古墳（図2）、群馬県宝塔山古墳（図3AとB）、滋賀県天乞山古墳（図4）、宮崎県常心塚古墳（図5）などの方墳があります。



図1 造山古墳



図2 龍角寺岩屋古墳



図3A 宝塔山古墳

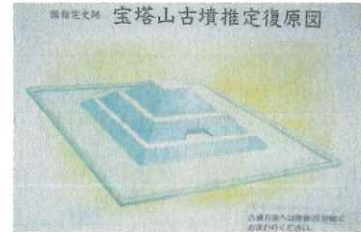


図3B 宝塔山古墳



図4 天乞山古墳



図5 常心塚古墳

円墳…平面形が円形の古墳です。正円形（まんまる）の他に長円形（陸上のトラックのような形）のものもあります。古墳時代を通じてつくられ、直径数メートルから百メートル前後で、規模は中・小型のものが多くあります。これまで国内最大の円墳は埼玉古墳群にある丸墓山古墳（墳径105m 図6）とされたきましたが、2017年に奈良県奈良市にある古墳の富雄丸山古墳（図7）を市教育委員会が測量調査した結果、従来直径86mとされていたこの古墳が直径110m前後に復元できることが判明しました。そのため、これまで国内最大の円墳とされてきた丸墓山古墳を上回り、富雄丸古墳が国内最大の古墳となりました。その他にも、愛知県八幡山古墳（図8）や新潟県城の山古墳（図9）があります。



図6 丸墓山古墳



図7 富雄丸山古墳



図8 八幡山古墳



図9 城の山古墳

【「前方後円墳」の「あの形」に迫る】

前方後円墳…日本に特有な墳墓形式で、古墳時代を通じて造られています。1・2ページで調べた方墳と円墳が結び付けられたような形をしています。この「前方後円墳」という名称は蒲生君平（江戸時代後期の儒学者）の山陵志（さんりょうし）において初めて用いられました。しかしこれは仮の名前で、本当はどちらが前なのか、長い間わかりませんでした。前方後円墳という名前は、前の前の文で紹介した蒲生君平が前方後円墳を牛車に例えたところからきています。現在は円形の部分を後円部、方形の部分を前方部と呼び、接撃部（繋がっている部分）をくびれ部と呼んでいます。くびれ部に造り出し部が造られるものもあります。墳丘には埴輪をめぐらし、遺体は後円部に埋葬されました。前方部は祭壇（神や精霊、死者などに犠牲や供物を捧げるための台）の意味をもつとされます。前方後円墳の形については、円墳と方墳が結合してあの形になったという説、壺型土器の形や盾の形に似せてあの形になったという説、女性や男性、子宮の中の赤子を意味しているという説など様々なものがあります。

話は戻り、そんなたくさんの説の中でも、特に有力な説を二つ紹介します。

まずは一つ目の説です。前方後円墳の前の時代の弥生時代には土を盛り上げ周囲に堀をめぐらせた墓（弥生墳丘墓）がありました。これらの中には、堀の一部が途切れて陸の橋（堀を通って墳丘墓に続く道）となったものもあり、この陸の橋は単なる橋ではなく様々な土器が発掘されています。このことから陸の橋では死者を送る儀式が行われていたと考えることができます。やがて橋の部分が大きく発達して前方後円墳に見られる形になったという説です。

二つ目の説は、中国から伝わったという説です。中国では古くから、「天は円く地は方形」という「天円地方」という宇宙観（考え方）があります。なので中華圏の建造物は、この考えの基づくものが多数見られます。これが日本に伝わり、前方後円墳の形になったという説です。亡くなった王は、円い天にほうむられることによって、神になり、それを祭る後

つぎの王は、四角い地の上に立って、この地の支配者の地位を確かなものにする、というわけです。

以上が、特に有力な説ですが、いろいろと調べているうちに、特に僕が気になった説があるので、紹介します。

【図形○と△合体説】

「方墳」とされる部分は、決して方形ではない。正方形でも長方形でもないのに、どうして「方墳」なのか。多くの「前方後円墳」を検証してみると、そのほとんどが方墳部分の二つの角は、直角ではなく鋭角になっている。そして、そのラインを延ばすと、円墳の円周上で交差している。中には円の中心で交差しているものもあるようだ

が、ほとんどは、円周上のある点で交差し、それによって二等辺三角形が作られている。ある点を中心とする円 (A) を描く。次に、その中心点と円周上のある点を通るような垂線を持つ二等辺三角形 (B) を重ねると図形 (C) ができる。これこそが、前方後円墳と言われている形状 (D) となる。前方後円墳の本源的意味は、○と△の合体にあるのだ。(図10)

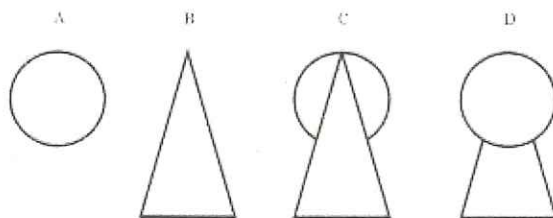


図10 ○と△の合体図

では、その○と△は何を意味しているのか。図11参照。これは、カゴメ紋、あるいはダビデ王の紋章とも言われているユダヤ人のシンボルでもある。

この紋章は上に尖った正三角形と、それを逆にした正三角形を重ね合わせてできている。この二つの図形が何を意味しているか。上の図の (A) は男性を、そして (B) は女性を象徴しているとも言われている。つまり、ユダヤの紋章とは、男性と女性の統合 (合体) を意味しているということだ。ここから大きなヒントを得ることができる。前方後円墳が○と△の統合 (合体) であるなら、その△は男性を象徴とし、○が女性を象徴としている。○は女性的な意味や印象を多く持つ形なので、辻褄が合う。

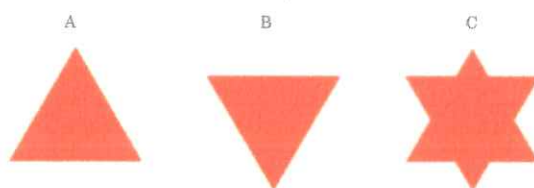


図11 ダビデ王の紋章 (カゴメ紋)

というものです。この説では、カゴメ紋やダビデ王の紋章などが出てくるので突拍子もないような感じもしますが、その他の説で問われなかった「方墳と円墳が合体したら、なぜ方

墳が台形のような形になるのか」がはっきりと説明されているので、自分としては、納得のいく説でした。

【終わりに】

ここまでたくさんの説を調べてきました。実は僕が一番最初に立てた仮説は、ウィキペディアに載っていました。だから、僕が考えたことが、全く間違っていたわけではないと思います。でも残念ながら、この説が結局科学的に正しいということを示した文献はありませんでした。

それでも、いろいろな説に出会うことができたので、とても良かったと思います。

そして、調べていく中で、たくさんの説に共通することを見つけることができました。それは、死者を敬うという気持ちや亡くなった人に「今までありがとう」と感謝を表したりする気持ち、土地の繁栄を祈る気持ちからあの形がきている、ということです。古墳の埋葬者は、その土地を治めていた有力者や首長などです。土地を治め、守り、豊かにしてくれたことに感謝し、そしてこれからもこの土地を見守ってくださるようにと、墓に祭壇を設けたり、末永く繁栄が続くようにと願いを込めた結果があんな形だと、僕は思います。墓の形は変わっても、墓を作る、または選ぶ人たちの気持ちは、今も昔も変わりません。僕は先祖への感謝の気持ちを示すため、今年のお盆も墓参りに行ってきました。これからも、今の世の中を作ってきた先祖達に感謝をしながら、生きていきたいです。

《参考ウェブサイト》

- ウィキペディア：方墳 <https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%96%B9%E5%A2%B3>
コトバンク：方墳 <https://kotobank.jp/word/%E6%96%B9%E5%A2%B3-132430>
方Weblio辞書：書墳 <https://www.weblio.jp/content/%E6%96%B9%E5%A2%B3>
ウィキペディア：円墳 <https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%86%86%E5%A2%B3>
コトバンク：円墳 <https://kotobank.jp/word/%E5%86%86%E5%A2%B3-38369>
Weblio辞書：円墳 <https://www.weblio.jp/content/%E5%86%86%E5%A2%B3>
ウィキペディア：前方後円墳
<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%89%8D%E6%96%B9%E5%BE%8C%E5%86%86%E5%A2%B3>
コトバンク：前方後円墳
<https://kotobank.jp/word/%E5%89%8D%E6%96%B9%E5%BE%8C%E5%86%86%E5%A2%B3-88936>
前方後円墳の歴史
<https://murata35.chicappa.jp/kansaitanboki/huruitikohun/kohun01.htm>
前方後円墳の前はどちらでなぜあの形？いつ世界遺産に登録されたの？
<https://kotaro2018.com/world-heritage/front-and-rear-circle/>
前方後円墳意味 <http://www7.torichu.ne.jp/~landp21/zenpou.html>
前方後円墳は、なぜ「かぎ穴」の形を知っているの
<https://kids.gakken.co.jp/box/syakai/06/pdf/B026103030.pdf>
その他 Weblio辞書：首長、ウィキペディア：ダビデの星・六芒星 など